

経営計画の取組状況【平成24年度】

① 広島病院評価表(その1)

別紙①

1 具体的取組

番号	取組方針	取組項目	実績総括	自己評価	委員会評価(案)	委員会意見(取りまとめ案)
1 医療機能の強化						
1	救急機能の強化	略	略	◎	◎	新アンギオ室の稼働、CT・MRIの稼働延長、循環器輪番病院制への参加、ドクターヘリ事業への協力などの取組強化により、救急医療の量と質は堅実に向上しており、基幹病院としての役割を果たしている。 救急受入件数の増加とともに、ホットライン受入不可率の減少に向けた更なる努力を期待する。
2	周産期医療提供体制の強化	略	略	◎	◎	大幅に増加した緊急母体搬送の受入れやハイリスク患者への24時間対応など、現有の医師による対応を高く評価する。 計画されているNICUの増床については、早期に取り組んでいただきたい。
3	がん診療機能の強化	略	略	◎	◎	治療実績やがん登録件数が増加し、がん診療の拠点としての機能を更に発揮しているものと評価できる。 「がん総合治療センター」の設置に向けて、ソフト・ハード両面での機能強化が進んでおり、本格稼働を期待する。
4	医療の安全と質の向上	略	略	◎	◎	地域医療機関による電子カルテ閲覧を可能とする「KBネット」の運用開始や80%に近い紹介率・逆紹介率など、計画の取組方針に掲げた事項を着実に実施し、地域医療のけん引役として、また、医療システムの中核として機能を発揮していることは、高く評価できる。
2 医療人材の育成・派遣機能の強化						
5	人材の確保・教育・派遣	略	略	◎	◎	医療人材の県下医療機関への派遣、初期研修医マッチング率100%、専門的な看護師・コメディカルの計画的養成などは、高く評価できる。 時短勤務制度の活用をはじめ、育児等に配慮した勤務環境の改善も進められているが、この他に、個々の女性医師にとって最適な勤務時間の選択ができるような制度設計の取組みに期待する。
3 患者サービスの向上と経営の効率化						
6	患者サービスの向上	略	略	◎	◎	「県立広島病院 お医者さんたちのお話」の出版などをはじめとする様々な広報活動や患者の利便性の向上を目指した計画的な取組は、高く評価できる。 HPIにおいても、チーム医療体制、KBネットなど総合病院ならではの取組をアピールするなど、更なる改善を期待する。

委員評価	委員意見(各意見)
◎6	◆基幹病院としての役割を果たしているという姿が示されていると考える。 ◆新アンギオ室の稼働、CT・MRIの稼働延長、循環器輪番病院制への参加、ドクターヘリの運行などにより、救急医療の量と質は堅実に向上している。 ◆順調。 ◆全体として取組強化されていると思います。ホットラインは依頼件数自体H23より下がっているのに受入不可率が上がっているのが気になったが、救急受入件数は伸びているので◎と評価した。この点、今後は救急車・ホットライン全体の応需率を経年で確認させてきたい。
◎5 ○1	◆現有の医師にて対応したことを高く評価する。 ◆ハイリスク患者は24時間体制で対応しており、緊急母体搬送件数は対前年度比約140%と増加している。 ◆順調。 ◆計画筆頭に掲げてあるNICU増床が果たされていないことから、辛口評価とした。他部署との人員数の調整が必要等、困難があるとは伺っているが、必要があつての計画だと思つたので、計画通りのNICU早期増床を望む。
◎6	◆がん診療の拠点として機能発揮していると評価する。 ◆「がん総合治療センター」設置に向けて、ソフト・ハード両面での整備に努めており、治療実績やがん登録件数も増加している。 ◆順調。 ◆H25年度に向けて、がん医療機能強化のための組織の再編が進んでいると思う。H25年度のがん総合医療センター本格稼働を期待している。
◎5 ○1	◆地域医療のけん引役として、また、医療システムの中核として機能していることを評価する。 ◆地域医療機関からの電子カルテ閲覧が可能な「KBネット」の運用開始および80%に近い紹介率・逆紹介率は、高く評価できる。 ◆順調。 ◆計画の取組方針に掲げてある事項が着実に実施されていると思う。 ◆KBネットの成果を見たい。
◎6	◆医療人材の県下医療機関への派遣を高く評価する。 ◆女性医師の勤務態勢に関する制度設計のモデル作成 ◆初期研修医マッチング率100%、専門的な看護師等コメディカルの計画的養成、保育所の設置や時短制度の活用など勤務環境改善、あるいは、県内の病院・診療所への数多くの医師等派遣は、評価できる。 ◆順調。 ◆各種教育・研修環境の整備・充実が図られていると思われ、◎と評価する。ただし、保育所については以前より同所にあるので、別の環境整備を掲げた方がよいように思う。
◎6	◆さまざまな取組が行われていることを高く評価する。出版による情報発信も良い試みであると高く評価する。 ◆「県立広島病院 お医者さんたちのお話」の出版や、県広報番組での救急医療現場の紹介は、高く評価したい。 ◆順調。 ◆利便性向上及び広報充実とも計画が着実に遂行されている。HPIについては、たとえばチーム医療体制、KBネット等、総合病院ならではの取組も見やすかたで広報すると県民の広島病院への信頼はさらに高まるように思う。

経営計画の取組状況【平成24年度】

① 広島病院評価表(その2)

番号	取組方針	取組項目	実績総括	自己評価	委員会評価(案)	委員会意見(取りまとめ案)
3 患者サービスの向上と経営の効率化						
7	経営の効率化	増収対策	略	略	◎	診療報酬改定への適切な対応による増収策や、DPC病院Ⅱ群に向けての急性期医療の充実策など、積極的な取組は高く評価できる。政策医療に係る取組とのバランスを保ちながら、改善を図っていただきたい。
8		費用合理化対策	略	略	◎	材料費削減は病院経営に大きく貢献しているが、基幹災害拠点病院をはじめとする病院の多様な機能に応じた在庫のあり方について検討していただきたい。後発医薬品の利用拡大に期待する。
9		経営機能強化	略	略	◎	経営戦略会議開催や経営学研修などにより、職員の経営参画意識の醸成に努めている。
4 連携強化						
10	地域連携状況等	略	略	◎	◎	「KBネット」の運用開始、80%に近い紹介率・逆紹介率、近県基幹自治体病院との連携協定締結など、多岐にわたる活動は高く評価できる。今後は、これらの取組を患者にわかりやすい形にして、HPや連携先の病院等で積極的に広報するよう検討していただきたい。
11	(2病院)協力状況	略	略	○	○	2病院間での職員派遣や研修会開催は評価できるが、効果を意識した積極的な連携が進んでいるとは言い難い。2病院の連携によって、より高度な人材育成業務の効率化を成し得るよう、具体的な取組を検討すべきである。

委員評価	委員意見(各意見)
◎4 ○2	◆保険診療についての取組は高く評価するところだが、政策医療についての取組にも関心を傾けていただきたい。 ◆政策医療や急性期医療の充実、適切な診療報酬改定への対応、DPC病院Ⅱ群への対応、患者負担の適正化など、積極的に増収策に取り組んでおり、評価できる。 ◆順調。
◎3 ○2 △1	◆単に材料費削減ばかりに関心が集中し、公立病院として必要な費用の収益化や使用効率、あるいは、病院機能に応じた在庫の考え方などの整理がなされていないと思われる。 ◆診療材料費は削減されており、今後は、SPD委託料や医療の安全性への影響など、費用対効果を検証されたい。 ◆順調。
◎4 ○2	◆経営戦略会議開催や経営学研修などにより、職員の経営参画意識の醸成に努めており、適切である。 ◆順調。
◎5 ○1	◆多岐にわたる活動を高く評価する。 ◆「KBネット」の運用開始、80%に近い紹介率・逆紹介率、近県基幹自治体病院との連携協定締結は、評価できる。 ◆順調。 ◆取組は評価する。できればこの点は患者としても知りたい情報と思うので、連携登録証や病院間協定制度の制度や登録病院について、広島病院でも広報し(院内に掲示、分かりやすい制度内容をHPで公表等)、また連携病院や協定病院でも広報いただければと思う。
○5 △1	◆目みえて2病院の連携が強化されているように思えないことから評価を低くした。 ◆2病院間での職員派遣や研修会開催は評価できる。 ◆安芸津病院の最大効率を図るための取組を、具体的に検討いただければと思う。

2 取組結果

5 決算、目標指標						
12	収支改善、目標指標	略	略	◎	◎	約15億円の繰入金削減にもかかわらず、職員が一丸となって約5億円の経常収支黒字を達成したことは、高く評価できる。

◎6	◆繰入金約15億円の削減にもかかわらず、約5億円の経常収支黒字を達成したことは、高く評価できる。 ◆スタッフ一丸となつての努力の成果を拝察する。
----	---

総合評価					◎	限られた人的物的医療資源の中で、広島県下のリーディングホスピタルとして、県全体の医療の最適化を念頭に、県立病院に期待されている医療機能を発揮しつつ、公共性と経済性をしっかりと両立・維持していることは、全国の大規模自治体病院の模範となるものであり、高く評価したい。 進行中の取組についても、最大の結果を出せるよう、マネジメントを強化しつつ取り組むことを期待する。
------	--	--	--	--	---	---

◎5 ○1	◆県立病院に期待されている医療機能の発揮に関しては◎だが、それを支えるマネジメントの構造の構築が遅れているという点を加味して○と評価した。 ◆非常に良く達成している。 ◆限られた人的物的医療資源のなかで、広島県下のリーディングホスピタルとして、県全体の医療の最適化を念頭に、公共性と経済性をしっかりと両立・維持していることは、全国の大規模自治体病院の模範となるものであり、高く評価したい。 ◆順調と評価する。 ◆進行中の取組について、結果が出ることを期待する。
----------	--

経営計画の取組状況【平成24年度】

② 安芸津病院評価表(その1)

1 具体的取組

番号	取組方針	取組項目	取組実績	自己評価	委員会評価(案)	委員意見 (取りまとめ案)
1 医療機能の強化						
1	地域と一体となった医療の提供	略	略	○	◎	<p>地域の実情分析等により安芸津病院が担う役割を明確化し、地域医療機関の訪問や意見交換会の開催などにより地域の要望を踏まえた地域医療機関等との連携強化に努めている。これらの取組等により、紹介率・逆紹介率に係る成果をあげており、評価できる。</p> <p>また、医療公開講座の開催や地域イベントへの参加などにより地域との一体感の醸成に努めるとともに、退院前訪問や退院後72時間以内の電話訪問を実施し、円滑な在宅療養に向けての支援を進め、地域と一体となった医療の提供に努めていることは高く評価する。</p>
2	政策医療の実施	略	略	○		<p>限られた人的資源の中で二次輪番空白日への対応や小児医療の維持・増進に努めており、評価できる。</p>
3	医療の安全と質の向上	略	略	○	○	<p>電子カルテ稼動により業務の円滑化が図られているが、クリニカルパスの適用件数が少ないこともあり、医療安全や質との関連や臨床指標の体系的な整理・分析がなされていない。</p> <p>一方、「転倒予防靴下」を使用した医療安全の取組やその研究成果の発表等は、高く評価できる。</p>
2 医療人材の育成・派遣機能の強化						
4	人材の確保・教育・派遣	略	略	◎		<p>医師確保については、医療機能の維持に十分とまでは言えないまでも、精一杯の努力により一定の成果が認められる。</p> <p>また、そのような状況にありながらも、外科、整形外科、小児科の医師を近隣病院へ派遣し、当該病院の医療水準の向上に貢献していることは、高く評価できる。</p> <p>今後更に安芸津病院ならではの人材育成が図られることを期待したい。</p>
3 患者サービスの向上と経営の効率化						
5	患者サービスの向上	略	略	◎	◎	<p>療養環境の改善や広報の充実など、工夫しつつ、積極的に取り組んでいる。とくに、住民325人が参加した大崎上島町での医療公開講座は、極めて高く評価できる。</p>

委員評価	委員意見 (各意見)
◎5 ○1	<ul style="list-style-type: none"> ◆様々な取組がなされていることを高く評価する。 ◆地域医療機関の訪問や意見交換会の開催、地域安心ネットワークへの参画などにより、紹介率・逆紹介率が次第に向上しており、評価できる。また、医療公開講座の開催や地域イベントへの参加など、地域との一体感の醸成に努めている。とくに、325人にもものぼる住民が参加した大崎上島町での医療公開講座は、極めて高く評価できる。さらには、円滑な在宅療養に向けての退院前訪問と退院後72時間以内の電話訪問の実施も、評価したい。 ◆地域の要望、需要を考慮しながら成果をあげている。 ◆地域の実情を分析した上で、具体的な仕掛けを行い、成果を出しておられるので◎と評価とした。H25年度の病床利用率にも期待している。 ◆地域特性を考えると、よく経営しているという評価である。
◎3 ○3	<ul style="list-style-type: none"> ◆限られた人的資源の中で二次救急医療機能や小児医療の維持・増進に努めており、評価できる。 ◆困難な中での二次輪番対応を評価する。 ◆医師確保にも尽力され、なし得る限りの対応はとられていると思い、◎と評価とした。
○6	<ul style="list-style-type: none"> ◆電子カルテ稼動により業務の円滑化が図られているが、クリニカルパスの適用件数は少なく、臨床指標が体系的に整理・分析されていない。一方、「転倒予防靴下」を使用した取組や全国規模の研究會開催は、高く評価できる。また、医療相談窓口や総合案内の設置も評価したい。 ◆電子カルテと医療の安全と質との関連は？ ◆パスの活用、HPIリニューアル等H25年度にさらに期待する。
◎3 ○3	<ul style="list-style-type: none"> ◆広島大学や県立広島病院からの医師の派遣や研修医の受入れなど、医師確保については一定の成果が認められるものの、目標として掲げている医療機能を維持するのに十分であるとはいえない。そのような状況にありながらも、外科、整形外科、小児科の医師を近隣病院へ派遣し、当該病院の医療水準の向上に貢献していることは、高く評価できる。 ◆限られた中で頑張っている。 ◆人材確保においては精一杯の努力とその成果を認める。安芸津病院ならではの人材育成をさらに進められてはどうか。
◎4 ○2	<ul style="list-style-type: none"> ◆療養環境の改善や広報の充実などに積極的に取り組んでいる。とくに、住民325人が参加した大崎上島町での医療公開講座は、極めて高く評価できる。 ◆工夫と努力を評価する。

経営計画の取組状況【平成24年度】

② 安芸津病院評価表(その2)

番号	取組方針	取組項目	取組実績	自己評価	委員会評価(案)	委員意見 (取りまとめ案)	
3 患者サービスの向上と経営の効率化							
6	経営の効率化	増収対策	略	略	○	○	前年度に比して約1億4千万円の収益改善が認められる。 病床利用率の改善に期待したい。
7		費用合理化対策	略	略	○	○	診療材料費削減の医療安全性への影響や委託契約内容の見直しによる契約内容の品質管理にも注視し、費用対効果を検証されたい。 費用の削減額や率にのみ捉われないこと、削減の目的を明確にした合理化対策に取り組む必要がある。
8		経営機能の強化	略	略	○	○	運営状況の分析やコンサルによる医療需要調査、あるいはモデル病院の視察などにより、経営機能の強化に努めている。
4 連携強化							
9	(2病院)協力状況	略	略	○	○	2病院間での職員派遣や研修会開催は評価できるが、安芸津病院からの積極的な働きかけを期待したい。	

委員評価	委員意見 (各意見)
◎1 ○5	◆平成24年度の決算は、約9千万円の経常赤字であるものの、前年度に比して約1億4千万円の改善が認められている。 ◆H25年度の病床利用率に非常に期待を寄せている。
○5 △1	◆取組内容が合理的であると判断しかねる。 ◆診療材料費削減の医療安全性への影響など、費用対効果を検証されたい。また、さまざまな委託契約内容が見直しされ、経費が削減されているが、契約内容の品質管理にも注視されたい。
◎1 ○5	◆モデルのつくりかたが不明である。 ◆経営戦略会議の開催やコンサルによる医療需要調査、あるいはモデル病院の視察などにより、経営機能の強化に努めている。 ◆具体的な取組がなされてきており、◎と評価とした。結果は来年度にできればよいと思う。
○5 △1	◆安芸津病院からの積極的な働きかけを見出せないために低い評価とした。 ◆2病院間での職員派遣や研修会開催は評価できる。

2 取組結果

5 決算、目標指標						
10	収支改善、目標指標	略	略	△	△	各取組は評価できるものの、紹介率等一部の項目を除き、収支目標は達成できていない。

○2 △4	◆紹介率等一部の項目を除き、収支目標は達成できていない。 ◆結果はともかく、各取組は評価できることから○と評価とした。
----------	--

総合評価						
					○	経済性の確保やマネジメントに関しては十分ではない面も見られるが、限られた人的物的医療資源の中で、地域特性を反映した医療機能の発揮に努め、住民からの信頼を獲得していることは評価できる。 医療現場で行われ始めた地域に対する様々な積極的な取組は評価でき、地域包括ケアの核としての役割を果たしていくことを期待したい。

◎1 ○4 △1	◆医療現場で行われ始めた地域に対する様々な積極的な取組を高く評価する一方、マネジメントについての合理的な取組がなされていないように思う。 ◆全体的に良く努力している姿が評価できる。 ◆限られた人的物的医療資源のなかで、地域特性を反映した医療機能の発揮に努め、住民からの信頼を獲得していることは評価でき、今後は地域包括ケアの核としての役割を果たしていくことを期待したい。一方、経済性の確保に関しては、十分ではない面も見られるので、継続的な改善に努められたい。 ◆不足する人員の中で頑張っておられることを評価する。 ◆H24.25で具体的な取組がなされており、その結果を来年評価できればと思う。 ◆経営改善の兆しがでているので、今の上昇基調が続くことを期待する。
----------------	--